

無石綿

NSタウンモルタル

防火・準耐火構造用軽量セメントモルタル
国土交通大臣認定品

NSタウンモルタルは、ラス下地・ノンラス下地・コンクリート・ALCパネル等の広範囲な下地に適用できる戸建て住宅用軽量セメントモルタルです。国土交通大臣の認定を受けています。

特長

- 普通モルタルと比較してひび割れの発生が少なく、ノンラス下地に対しても良好な接着性を有しています。
- 従来のモルタルに比べて軽量で扱いやすく、作業性が良好です。
- 防火・準耐火構造として認定を受けています。
- 工場生産による均一配合のため、水練りだけで使用でき、品質管理が容易です。

標準仕様

荷姿	適用部位	適用下地	適用仕上げ	標準調合	塗厚*	標準施工面積
25kg/袋	戸建て住宅の外壁・柱・軒裏	ラス下地、ノンラス下地、コンクリート、モルタル、ALCパネル	仕上塗材	清水約8.5ℓ	15~17mm	約1.8m ² (15mm厚) 約1.7m ² (16mm厚) 約1.6m ² (17mm厚)

注)*：各認定条件での塗厚は、防火・準耐火認定一覧表を参照してください。

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。
※各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で調べてください。

練り混ぜ時間が短い場合、強度低下の要因になりますので、練り混ぜ時間は3分を確保してください。

●防火・準耐火認定一覧表

構造区分	ラス工法			ノンラス工法		
	認定番号	部位	塗厚(mm)	認定番号	部位	塗厚(mm)
防火	PC030BE-9190	外壁	15	PC030BE-9191	外壁	16
準耐火45分	QF045BE-9209	外壁	15	QF045BE-9210	外壁	16
	QF045CN-9020	柱	15	QF045CN-9021	柱	16
	QF045RS-9105	軒裏	15	QF045RS-9106	軒裏	16
準耐火1時間	QF060BE-9213	外壁	15	QF060BE-9212	外壁	17
	QF060CN-9023	柱	15	QF060CN-9022	柱	17
	QF060RS-9108	軒裏	15	QF060RS-9109	軒裏	17

●NS通気層工法 軸組

QF045BE-0310 準耐火構造 45分 外壁
QF060BE-0309 準耐火構造 1時間 外壁

●APM工法 軸組

PC030BE-1063 防火構造 30分 外壁
PC030BE-1064 防火構造 30分 外壁
PC030BE-1065 防火構造 30分 外壁
PC030BE-1066 防火構造 30分 外壁

●APM工法 枠組

PC030BE-0877 防火構造 30分 外壁

性能

試験項目	試験結果	JASS 15 M-102の品質基準
練上り率(%)	-2.5	±5以下
軟度変化(%)	1.7	20以下
凝結時間(時間-分)	始発	2時間以上
	終結	12時間以内
曲げ強度(N/mm ²)	2.8	2.0以上
吸水量(g)	34.3	40以下
透水量(ml/h)	0.5	1以下
長さ変化(%)	0.14	0.15以下

※上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

日本化成(株)テクニカルセンター

下地の 清掃・点検

ラス下地の場合、施工下地の構造材、合板等の取付け状態を確認し、防水紙およびラスの浮きやたるみがないことを確かめてください。また、開口部の取合いや目地の確認等の下地の点検を十分におこなってください。ノンラス下地の場合、不陸や突起物のない乾燥した下地であることを確認し、表面の埃・汚れ等はブラシ等で清掃し、除去してください。

練混ぜ

NSタウンモルタル 25kgに対し水約8.5ℓを加え、モルタルミキサー、ハンドミキサー等でダマが残らないように十分に練り混ぜてください。

*強度低下の原因となりますので、標準調合を厳守してください。加水後の材料は、夏季40分、冬季60分以内に使い切り、練足し、水を加えての練戻しは避けてください。

●ラス下地の場合

壁・柱の場合、1回の塗厚を8～10mm程度とし、水引き具合(夏季1～2時間、冬季3～4時間が目安です)を見計らって所定厚に塗り付けてください。軒裏の場合は、1回の塗厚を6～7mm程度とし、翌日以降所定厚に塗り付けてください。仕上材の種類によって、金ごて押え、木ごて押え、刷毛引き等をおこなってください。

*NSタウンモルタルが木部に接触すると、硬化不良の原因となりますので、必ずアスファルトフェルトを貼り付けた上ラスを取り付けてください。

*ラスに食い込むように「ガリッ」と擦ってから所定厚に塗り付けてください。

*塗り継ぐ場合、下塗面は金ごて押えを避けてください。また、塗り継ぐ際、下塗面の乾燥が激しい場合には、水湿しをおこなってください。

*防火・準耐火性能に影響を及ぼしますので、認定条件の厚み以上の塗厚を確保してください。

塗付け

●ノンラス下地の場合

壁・柱の場合、こて圧をかけて下地に擦り込むように塗り付け後、8～10mm程度塗り付け、翌日以降所定厚に塗り付けてください。軒裏の場合、こて圧をかけて下地に擦り込むように塗り付け後、6～7mm程度塗り付け、翌日以降所定厚に塗り付けてください。仕上材の種類によって、金ごて押え、木ごて押え、刷毛引き等をおこなってください。

*浮きや割れの原因となりますので、「ガリッ」と擦ってから所定厚に塗り付けてください。

*下塗りの乾燥が激しい場合は、水湿しをおこなってください。

*塗り継ぐ場合、下塗面は金ごて押えを避けてください。また、塗り継ぐ際、下塗面の乾燥が激しい場合には、水湿しをおこなってください。

*防火・準耐火性能に影響を及ぼしますので、認定条件の厚み以上の塗厚を確保してください。

*ノンラス下地の下塗りモルタルには、NSハイフレックスHF-1000を1袋25kg当たり1kg混入してご使用ください。

養生

通風や直射日光を避け、必要に応じてシート掛け等の養生をおこなってください。また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合も、シート掛け等の養生をおこなってください。

*強度が出ないおそれがあるため、通風や直射日光により塗付け面の乾燥が激しい場合には、塗付け翌日以降に散水養生をおこなってください。

*仕上材の浮きやはがれ・はく落の原因となりますので、塗り付け後、仕上げまでの養生は、夏季7日以上、冬季14日以上おこなってください。



使用上の注意

■気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。

■本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。

■練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。

■使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。

■製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。